報道関係各位

yyyy年mm月dd日

株式会 SEMIT RP

**「RP BUGER」20店全店にバイオ式生ごみ処理機を導入  
微生物の力で1店舗当たり年間20トン、  
全店合計400トンの生ごみ削減を目指します**豊かな自然を残しいつまでも「おいしい」をお客さまへ提供します

図形, 四角形

自動的に生成された説明

画像の説明

**株式会社SEMIT RP（本社：東京都港区、代表取締役：山田 拓己）が運営するハンバーガー専門店「RP BUGER」は、20●●年●月●日より全20店舗にバイオ式生ごみ処理機「SEMIT POST」を導入しました。「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けて、同店での生ごみ削減を目指します。**

**【Webページ】**[**http://~~**](about:blank)

**導入の経緯**

温室効果ガスの影響で日々深刻化する地球温暖化。農地の干ばつや生態系の変化、海の水温上昇といった現象は、地球温暖化が進むことでますます顕著になっており、私たちの食生活にも大きな影響を及ぼします。なかでも、農作物の収穫量の減少や海産物の減少は、食卓に並ぶ食品の種類や価格に直結し、食糧不足にもつながってくるのではないかと考えています。  
日本では、「2050年カーボンニュートラル（※）」を政府が宣言し、その中のひとつに「2030年までに温室効果ガス排出量46%削減」が掲げられています。  
生ごみは水分量の多さから焼却に時間がかかり、使用する燃料も増えるため、排出するCO2も多くなるとされています。外食産業の生ごみ廃棄量は特に多く、SEMIT RPでも自社ができることから行動すべく、「RP BUGER」全20店舗にバイオ式生ごみ処理機を導入することを決定いたしました。

※「2050年カーボンニュートラル」とは、2010年に政府が宣言した「温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」という目標のこと。2015年にパリ協定が採択されて以降、120以上の国と地域が「2050年カーボンニュートラル」を目標として掲げています

**年間20トンの生ごみ削減**

今回、微生物の力で生ごみの大部分を水と炭酸ガスに変えることができるバイオ式生ごみ処理機「SEMIT POST」を導入。この生ごみ処理機を導入することで1店舗につき、年間で約20トンの生ごみ削減が見込まれます。焼却を必要とする生ごみ自体を削減し、温室効果ガスの排出を防ぎます。処理機自体にソーラーパネルが装備されており、使用する電力が少ないのも特徴のひとつ。電気使用に伴う温室効果ガスの削減も期待できます。

図形, 四角形

自動的に生成された説明図形, 四角形

自動的に生成された説明

**これからの「食」への取り組み**

今回の「RP BUGER」全20店舗へのバイオ式生ごみ処理機の導入以外にもより環境を配慮した経営を行い、豊かな「食」文化を守っていくべく、順次取り組みを進めています。

【**SEMIT RPの取り組み】**

1. **フードロス解消:**提携農家さまの規格外食材を使用したメニュー開発や既存メニューのサイズ選択肢拡大、食べきりの推奨を行い、食品の廃棄問題を解消に努めています。
2. **エネルギー効率の向上:** 私たちは製品の製造過程におけるエネルギー効率を見直し、省エネルギー技術を積極的に導入。CO2排出量の削減を図っています。
3. **サプライチェーンの最適化:** 原材料の調達から製品の配送まで、環境負荷を最小限に抑えるための取り組みを進めています。例えば、エコロジカルな輸送手段の採用や、リサイクル可能な包装材の使用を推進しています。
4. **サプライチェーンの最適化:** 原材料の調達から製品の配送まで、環境負荷を最小限に抑えるための取り組みを進めています。例えば、エコロジカルな輸送手段の採用や、リサイクル可能な包装材の使用を推進しています。
5. **地域コミュニティとの協力:** 地元の農家や漁業者と連携し、持続可能な農業・漁業の実践を支援しています。これにより、地域の食文化を守り、未来の世代に引き継ぐことを目指しています。
6. **環境教育と啓発活動:** 従業員や地域社会に向けて環境保護の重要性を啓発する活動を行っています。ワークショップやセミナーを通じて、環境問題に対する意識を高める努力を続けています。

**会社概要**

社名：

本社所在地：

代表取締役：

事業内容：

設立：

HP：